



米沢海軍の
伝統は人づくり

米沢有為会
米沢支部だより

米沢支部の講演会と交流いも煮会が、去る10月3日(土)午後4時30分から、ホテルサンルート米沢で開催されました。

講演会は山形大学学術研究院教授・山本陽史氏を講師に迎え『「米沢の海軍」の系譜』～人づくりの伝統を未来に～と題した講演を聞きました。

山本教授は「海軍の将官を輩出した点では米沢は薩摩(鹿児島)に次ぐのではないかと」の評価を披露した後、「東北・山国の米沢地方から多くの海軍将官を出したのは海軍先達が後輩を積極的に勧誘し支援したから」という。

米沢藩士・小森沢長政は明治維新で冷や飯を食わされた藩士が出世するには海軍が適当と考え、また、官費留学という恩典があったのは貧乏藩士の子弟にとって幸いであったと言える。小森沢の誘いで米沢で初めて海軍兵学校に入学したのが山下源太郎(後に海軍大将)で、続いて今村中将、黒井大将、南雲中将ほか陸続として海軍将校を輩出したのは、米沢の人づくりの伝統が息づいているからであり、米沢有為会にもつながっている一と述べました。

第 32 号

平成28年 2月10日

発行者

(社)米沢有為会米沢支部

支部長代理 種村信次

米沢市金池5-2-25

☎ 0238-22-5111



巻頭言

産業部長 山本 勇一郎

私が米沢有為会に入会したのは、今から40年程前に小関薫さんの御紹介に依るものと思います。当時の若者数十人(20人〜30人)は有為会育成部ともいえる存在でした。血気盛んで有り、活力に富み、集まっては置賜、米沢の将来について激論を交わしたものである。中には地方議員として活躍した人もおりました。昭和61年10月に山形県東南置賜地方事務所(現置賜総合支庁)主催に依る、未来をみつめて、個性と活力に満ちたおきたま。企業からの提言が発刊された。私も労働力と地域づくりというタイトルで寄稿させていただきました。日本経済は高度成長期とともに大きく成長して来た時代。そしてオイルショック、リーマンショックに依る停滞の時代と大きな波を受けながらも確実に一歩一歩前進し地域にも根づいて来ました。緑豊かな美しい自然、そこに育まれた人情味あふれた人々。国は地方創生を掲げその一環として政府機関の地方移転、文化庁を京都に、消費者庁を徳島県への方針である。実現出来れば田中政治の日本列島改造論に次ぐ大胆な改革といえ、東京一極集中から多少とも人、物、金の流れが変わることでしょう。

現在我国全体として少子・高齢化による人口減の問題が叫ばれている。御多分にもれず米沢市の2040年頃の人口は6万5千人位といわれ、現在より2万人程度の人口減が予測されている。減少を少しでも食い止める為にも、若者の雇用場所の確保が大前提である。企業誘致は元より、山形大学工学部初の有機EL、3Dゲルプリンター、産業用ロボット、又主に市の財政難から飯豊町に誘致されたという、リチウムイオン電池開発施設等、いずれも将来性豊かであり有望である。大学側の指導のもと、地場産業と連携し新たな企業を期待したい。現在産業部として特別な活動を行っていないが、夫々の分野に於いてベテランの人達が多いので、何かのお役にたてれば幸せである。

まちの話題

明治の建築家

伊東忠太 オスマン帝国をゆく

山形県第1号の文化勲章受章者、米沢市名誉市民でもある伊東忠太博士は、明治、大正、昭和の建築家として著名です。この度、トルコのイスタンブール工科大学非常勤准教授補ジラルデツリ青木美由紀氏の表記話題著書を紹介します。青木氏はオスマン帝国美術史を専攻しているうちに明治30年代のトルコで活躍した3人の日本人に出会います。それは茶道家の山田寅次郎、大阪貿易商人の中村健次郎、建築学で留学中の伊東忠太です。山田は日本文化を紹介しており、中村は『日本屋』として織物や陶器を販売していたそうです。国交のない時代になぜ日本人がいたかという、1890年（明治23）トルコの軍艦エルトゥールル号が和歌山県串本沖で台風に遭い座礁したとき、乗組員69人を助け、のちに日本の軍艦でトルコに送り届けたことに始まったと言われます。以



「(仮称)道の駅よねざわ」の開業へ

待望の東北中央自動車道（福島ジャンクション～米沢北インターチェンジ間）が平成29年度までに開通する見込みになりました。この開通は、13号栗子峠の冬期間通行の不安解消や所要時間の短縮、広域ネットワークなど米沢市はもちろん置賜地域、山形県にとっても大きな効果をもたらすものと期待されています。

これに合わせて整備を行っているのが「(仮称)道の駅よねざわ」です。国の重点道の駅に認定されており、『オール米沢（置賜）を体感・創造・発信する道の駅』をコンセプトに、地方創生拠点として整備される予定です。

《整備方針》

- ・山形県の南の玄関口に位置する総合観光案内窓口
- ・円滑な県内観光を促進する交通結末点
- ・地域の歴史と文化を活かしたおもてなし
- ・地域産業を振興し、地域の元気を作る



来トルコは親日国となっています。今度は1985年イラン・イラク戦争でテヘランにいた日本人をトルコの飛行機で帰国の労を取り無事日本人が帰国したことです。このことは東映の映画『海難1890』にもなっています。伊東忠太は慶応3（1867）年米沢市座頭町で生まれました。7歳で父と上京し、明治22年東京帝国工科大学造家学科に入学します。叔父平田東助の勧めでドイツ語を習います。明治32年33歳で助教授となり、明治35年3月36歳で文部省より、建築学研究のため3年の中国、インド、トルコ留学を命じられます。著書『伊東忠太 オスマン帝国をゆく』は、全行程のうち8か月半ほど滞在したオスマン帝国、トルコにおける忠太の行動が克明に調査され掲載されています。青木氏は米沢人の「ネッチョ」が勝ち取った留学であると評しています。東

大工学部建築学研究室にある野帳や絵葉書による情報、山形県立図書館にある絵葉書や名刺、家族にあてた手紙などから時系列に整理されていて読みやすい。建築の調査も市内の教会・モスクの様式から壁などの装飾紋様まで野帳に書きとめています。また留学の時期は、日露戦争まっただ中でトルコ国民の日本に対する感情やロシアに対する感情が伝わってくる手紙もあります。戦勝の時ともに祝ってくれたという。更にトルコでお世話になっていく山田寅次郎、中村健次郎との緊密な交流が紹介されています。米沢出身の中村榮一がトルコの留学後、中村商店の後



伊東忠太がトルコ帝国からいただいたメジディ三等勲章（上杉博物館）蔵

継となったこと、米沢の登坂家出身の奥さんと長男がマラリヤで亡くなり、トルコに墓があること、二男新七が幼児の時宮殿で育てられたこと、小学就学時に父と帰国したことが載せられています。忠太の建築学留学が終盤になって、フランス、イギリス、アメリカを回って帰国しますが、アメリカでの道路建設、ビル建設が盛んなことに驚き、これからの世の中の動きが見えてきたことを実感したと言われています。ぜひ忠太とともに旅したつもりで一読されたい。（梅津幸保）

発行所・株ウエッジ

価格2,700円+税

新しく会員になられた方々

氏名	会員区分
石澤 惣栄	個人賛助会員
伊藤 範夫	個人賛助会員
大河原 文和	正会員
上村 英寿	個人賛助会員
木村 智行	個人賛助会員
黒沼 收	個人賛助会員
小林 由美子	個人賛助会員
齋藤 昌広	個人賛助会員
佐藤 睦浩	個人賛助会員
難波 理	個人賛助会員
長谷部 利信	個人賛助会員
船山 秀一	個人賛助会員
横戸 隆	個人賛助会員

リレー随想 ⑰

寮生であった

ことに感謝



株米沢肥伊國屋 代表取締役

佐藤 知 由

「佐藤、どこに住んでる？」大学の友人から聞かれるとこう答えていました。「成城の辺り。」何故か調布市というのを格好悪いと思っていた19才の私が東京興譲館寮に入寮したのは、昭和60年4月でした。入寮面接を受けるまで有為会という言葉を知りませんでした。なぜ入寮に至ったかは覚えていません。多分父が有為会の会員だったこともあり、すすめてくれたのでしょう。四年間経過して、多くの友人に恵まれ、多くのことを教えていただいたことに感謝をしたいと思います。

寮は学生が運営する自治寮なので、毎月の舎生会で月次の決算を報告します。20歳そこらの若造にとって予算を組み、決算をする。お金の使い方や運営の仕組みを学ぶことが

でき、非常にいい経験になったと思います。

私は米沢市内で牛肉店を営んでおります。縁あって有為会の会員にさせていただき、多くの先輩方が寮のOBであったことを知り非常に心強く感じております。また、父、斌のこと、祖父、森英介のことをご存じの方も多く、私が知らないことをお話しいただき、大変有り難く思います。

今後有為会会員として、興譲館寮卒寮生として恥じぬよう、精一杯頑張つて参りますので、どうぞご指導賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

このたび、このような寄稿の機会をいただいたことに感謝いたします。

どうも おもしろしなっし



調布市成人式時に寮前で同級生と

～ 活躍する会員紹介 ～ ⑱

株米沢食肉公社 代表取締役

日下部 道 雄 さん



る一貫生産体制で取り組んでおります。

Q3. これからの抱負などは。

A3. 長い歴史に育まれた黒毛和牛の銘柄「米沢牛」と、品質と鮮度にこだわった「置賜産豚」、伝統の技が息づく加工品「美味伝承・米沢味紀行」を多くの皆様方に味わっていただけるよう努力していきたい。よろしくお願

いします。

Q4. 米沢有為会事業について、望むことなどありますか。

A4. 有為会は100年を超す歴史があり、郷土の青少年育成に多大な功績を残されていることに敬意を表するものです。今後も置賜・全国で活躍できる人材育成に尽力されるよう期待しています。

Q5. 有り難うございました。今後のご活躍を期待いたしております。

Q1. 先ず、会社の概略をお聞かせください。

A1. 昭和39年に設立された(株)置賜畜産公社が前身で、平成18年に米沢牛の銘柄確立が顕著になったことから米沢の名を冠し、現在の社名になりました。資本に山形県、米沢市ほか置賜2市5町、JA山形おきたま、県南家畜商組合ほかの出資を受けており、文字通りの地域密着公社です。

Q2. 具体的な業務内容はどのようなものですか。

A2. 当社は、米沢牛枝肉せり市場の開催、牛・豚枝肉の販売から、牛・豚の部分肉、精肉の製造販売、加えてハム、ソーセージ等の食肉加工品の製造販売に至るまで、食肉全般にわた

米沢有為会を支援します



東北警備保障株式会社 代表取締役
武田 誠一郎

昭和47年の創業以来、東北警備保障株式会社は40年以上にわたり置賜地区にて警備業を中心に事業展開をしております。地元密着サービス企業として、警備業だけでなく施設管理・受付・清掃などお客様からワンストップで要望に答えられる企業をめざし、成長を続けております。

平成18年からは指定管理業務も受注し、米沢市・山形県の施設の運営も行っております。変化することを恐れず、地元のニーズに素早く・きめ細かに対応していくことで、お客様の信頼を勝ち取っていることが我々の強みです。私たちは、これからも変化し続ける企業であり続けたいと考えます。そのためには企業理念「顔の見えるサービス企業として、「警備」「防災」「清掃」「見守り」を通じてお客様に安心と満足を提供し、地域社会の発展と社員の福利厚生向上に資すること」を着実に実行し、人材を育成することに全力を注ぎ、中長期的で確かなビジョンを持つ企業を目指しています。

私は学生時代、東京興譲館寮にお世話になりました。その当時はまだ米沢有為会のことをよく知らずに恩恵を受けていたわけですが、非常に恵まれた環境で学生生活を過ごせたことに本当に感謝しています。その御恩を忘れず、今度は私たちが後輩の面倒を見ることで「恩送り」を実行したいと思っています。また、今後Uターン就職ということについても積極的に受け入れられるように、地元企業として頑張らなくてはなりません。

少子高齢化の傾向は今後益々強くなっていくものと思います。こんな時代だからこそ「人の繋がり」を大事にすることを忘れてはならず、そのよきな「人の縁」を大事にする活動を米沢有為会には期待し、今後も惜しみなく協力することを約束します。



編集後記

▼今冬は挨拶に気を使う。「雪が少なくていいですね」なんて気軽に言えない。相手が除雪業者、スキー場、雪まつり関係者だったりするからだ。▼除雪作業が少ないためガソリンスタンドも影響があ

るらしい。雪下ろしも限られており、酒屋や居酒屋も販売がのびないとか。▼早くも、この夏には水不足かもしれないとの声もあり、やはり「何事もほどほどに」ということか。(山)

米沢有為会育英事業の 学生募集

これだけ便利・これだけ安い・これだけ快適

- ◎寮は2食付(朝・夕)で約4.8万円(東京)、約4.2万円(仙台)
- アパートで生活する場合
 - 東京(郊外)で5.5万~6.5万円。他に食費、光熱費など含め仕送り額約10万円程。
 - 仙台で4万~5万円。他に食費、光熱費など含め仕送り約8.9万円程。
- ◎東京興譲館は新宿駅から約40分。仙台興譲館は市街地まで約3km。
- ◎居室(東京)個室。(仙台)個室。
- ◎企業の採用担当者は寮生活経験者を評価しており、好印象を抱いている。(協調性、コミュニケーション能力が身に付いている。)

	「東京興譲館」寮	「仙台興譲館」寮
資格	大学(2部を除く)、短大及び大学院に進学・入学予定者(男子のみ)	大学、短大、専門学校及び大学院に進学・入学予定者(男子のみ)
寮費(月額)	4~6月、10~11月 48,000円 7~9月、12~3月 49,500円 個室、朝夕2食付	4~11月 42,000円前後 12~3月 44,000円前後 個室、朝夕2食付
募集人員	7名程度(定員24名)	6名程度(定員15名)
面接選考日	3月12日、3月24日	3月12日、3月25日
面接場所	米沢市内、東京興譲館	米沢市内、仙台興譲館

詳しくはホームページ

米沢有為会

検索